

ベタニア たより

社会福祉法人 呉ハレルヤ会

呉ベタニアホーム 呉ベタニアホーム長迫 ハレルヤ ユアネーム
tel:0823-26-8844 tel:0823-23-2003 tel:0823-32-5980 tel:03-6915-1347



「秋の作品展」出品うちわ 絵は87歳 夫書は77歳 妻

ベタニアホーム21周年おめでとうございます。里村佳子理事長の「尊厳ある介護」が出版され、大きな反響を呼んでいます。職員の皆さんや利用者の方々のこれまでの尊い歩みの故に生まれたものだと深く感動致しました。「尊厳」の意味を改めて調べると「尊くおごそかで、犯してはならないこと」とありました。

終わりの時、王なるイエス様は、空腹な者を食べさせ、渴いた者に飲ませ、宿を貸し、服を着せ、病気の者を見舞い、全く自由のない存在の者の所に訪ねてくれたことを「あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしましたのです。」(マタイ25章40節)と言われました。人間としての価値は、何も出来なくなり、最も小さい者として人に支えてもらうようになつても、キリストと同じ価値があるのです。人間は、神のかたちに造られた故に厳かな存在です。尊厳ある存在に、尊厳をもつて仕えることは、本当に素晴らしいことなのです。

日本福音宣教団
呉リバーハルセントー教会
牧師 岩田 芳美

呉ベタニアホーム21周年開設記念礼拝メッセージ
最も小さい者たちの一人にしたこと
マタイ 25章 31-40節



左から前川さん、島田さん、内山さん、司会者

この度は、ねむの家、ケアハウスささえの入居者の方々と一緒に座談会を行うこととなりました。私共の施設からは、内山さん、島田さんに出席して頂きました。

テーマは『施設での暮らし、私の生活』です。ケアハウスへ入居されるまでの経緯や、ケアハウスでの過ごし方、キリストの愛についてお話をされていました。

自立とは何か、集団生活において多様性の必要を感じる等の意見があり、示唆に富んだ座談会となりました。

高齢・障害・児童・保育という団体の垣根を越え、地域ごとに顔の見える関係の中で、災害時の情報共有や救援物資の相互支援などを行っていくことを目的とした協定です。

呉ハレルヤ会は、吳市・江田島市エリアのリーダー施設という役割が与えられました。地域や利用者のためにも、精一杯努力していきます。

「広島さっそくネット」とは、平成30年7月豪雨災害を契機に、広島県内の社会福祉施設を運営する13団体が締結した協定で、「広島県災害時等における安心を共に支えあう相互協力に関する協定」の頭文字をとり命名されました。

月豪雨災害を契機に、広島県内の社会福祉施設を運営する13団体が締結した協定で、「広島県災害時等における安心を共に支えあう相互協力に関する協定」の頭文字をとり命名されました。

広島県さっそくネット
広島県
災害時等における
安心を共に
支えあう
相互協力に関する
協定



社会福祉法人 呉ハレルヤ会 <http://www.bethania.or.jp/>
〒737-0046 広島県呉市中通4丁目9番17号 理事長 里村佳子

ケアハウス入居者で座談会

呉ベタニアホーム 生活相談員

前川 芽衣

広島さっそくネットが動き出す

ご献金を感謝申し上げます

一一〇一八八十月～一一〇一九年十月(敬称略)

ハレルヤ 支援員

中 勇人

アライアンス吉浦キリスト教会／荒川美穂子／伊賀鮎美／井上孝雄／

岩城公順／岩崎史子／遠藤征子／

大畠順子／尾田眞智子／角野晃二／

河上啓子／木谷茂美／久保千津美／

久保寿彦／呉リバーハルセントー教会／岩田芳美／児玉享／児玉雪江／

坂野武司・淳子／坂本弘子／里村佳子／

サランの会／須賀政年／品川みゆき／

大道清志／武田久美子／立花ヱイ／

田中直樹／田中禮子／谷本久江／

中川倍江／中島文子／中西厳／

中村正司／野口睦子／長谷川智壽子／

深本国夫／松田基子／松本聰子／

松元保羅・孝子／丸子紀子／宮岡尚子／

富島幸子／望月ハズエ／森和子／

森山和子／山内加代子／山元スミ／

よしの味噌

私が幼稚園の頃、脳血管障害がいから麻痺が出た祖父を、突然自宅で介護することとなりました。非常に気難しい性格のため、毎朝、祖父が癪癩を起こした怒鳴り声で、目を覚ます生活に変わりました。母は、多くの苦しみの中で、神様に必死に祈りました。その時、マタイ25章40節のみ言葉が答えとして与えられたのです。「そうだ！私は、キリストにお仕えしているのだ。」母の心は変えられ、年月はかかりましたが麻痺は癒され、信仰を笑っていた祖父が、イエス様を信じて天に召されました。

34節「さあ、わたしの父に祝福された人たち。世界の基が据えられたときから、あなたがたのために備えられていた御国を受け継ぎなさい。」私たちが良い行いをすることもできない時から、私たちのために神様が備えられた祝福を受け取りなさいと言われたのです。

34節「さあ、わたしの父に祝福された人たち。世界の基が据えられたときから、あなたがたのために備えられていた御国を受け継ぎなさい。」私たちが良い行いをすることもできない時から、私たちのために神様が備えられた祝福を受け取りなさいと言われたのです。

私の人生を変えた聖書の言葉は、イザヤ43章4節「わたしの目にあなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」でした。

人と比べて価値がないと思い、友達もいなく孤独な高校生でした。しかし、何が出来たか出来ないかではなく、神様が私の存在を愛し、尊いと言つてくださることを知り、大きな喜びが溢れました。



ご挨拶

理事長 里村 佳子

理事長就任にあたり「権力によらず、能力によらず、主の靈によって」ゼカリヤ書4章6節が心に響いています。

私は、初代理事長小宮山林也牧師、二代目理事長佐藤孝義牧師の後ろ姿を見てついてまいりました。

小宮山牧師は、今年9月に召天されました。小宮山牧師は私たちの弱さを知つて、平和と一致を保つため、朝は祈りと賛美で始めることを説かれました。そして、そのことを21年間、私たちは守つてきました。

これからも、最初の思いから離れず法人理念「人にしてもらいたいと思うことを人にもしない」と「変化しなければならないこと」を、誤らない為には祈りが欠かせません。常に神さまの声に聴き従い、栄光を表す呉ハレルヤ会となりますよう、小さき者の為に、お祈りをお願いします。

ベタニアたより④

台湾台北市 台湾長老 双連教会 礼拝堂で



台湾台北市 台湾長老 双連教会 礼拝堂で



双連新莊社会福祉センター

イエス様を信じた後は、不思議に相手が自分に得になる存在や尊敬できる存在でなくとも、その都度、神様の力が注がれ自然に人間関係が劇的に変化したのです。

「最も小さい者」は、一人で頑張っている私たち自身もあるかもしれません。

イエス様は心がカラカラで、人生の行く先もわからず、様々な人生の困難を抱えて、苦しんでいる私たちの人生の真っ只中に、「自分から近づいて来てくださるお方です。

イエス様は、私たちの本来の価値を見失つて、ズレた人生を回復するため、十字架に架かり、復活され、信じる者の内に今、来てくださるのです。

ヨハネ3章16節「神は、実際に、そのひとり子をお与えになつたほどに世(わたし)を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」

主が最も小さな者となり、最も小さい者を命を捨てるほど価値ある存在と愛されました。

ベタニアホームが、これからも「尊厳ある介護」を行つ施設として、キリストの愛に根ざして行けるよう、心からお祈り致します。

山元スミさん インタビュー

県ベタニアホーム 介護職員 上田 敬子

ケアハウスにお住いの山元スミさんは、来年2月に百歳を迎えられます。

Q ケアハウスに入居されて何年になりますか？

A 16年になります。

自由に暮らすことができ有難いことです。

入居のきっかけは、クリスマスで焼山に住んでいる娘です。娘がベタニアホームの開設を見て、いい所ができたと思つて、私に勧めました。

Q 元気で暮らす秘訣はありますか。

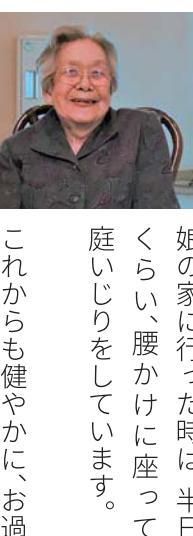
A 特別なことはしていません。

用事があれば出掛けし、食べ物の好き、嫌いはありません。

Q 何か趣味はありますか。

A ケアハウスでの毎週のティータイムを楽しんでいます。毎月の俳句会と月2回のコーラスに参加しています。

娘の家に行つた時は、半日くらい、腰かけに座つて、庭いじりをしています。



これからも健やかにお過ごしください。

クリスマス おめでとうございます。 吳ハレルヤ会一同

ハレルヤ 管理者 大上 望

吳ベタニアホーム長迫管理者 村上 賢

7月12～14日に、台湾研修がありました。

私は人生初めての海外でしたので、パスポートの取得、荷造り、搭乗手続き等の一つひとつに緊張感があるのと同時に、新鮮な気持ちを抱き、その時を迎えるました。

台湾では、施設見学や教会に伺つたのですが、出会う方々の私達を迎えて下さる気持ちや、丁寧でエネルギッシュに説明をして下さる姿に、温かい気持ちとなりました。この感動とともになしの姿勢を、今後に活かしていくたいと強く思います。

貴重な経験ができたのも、利用者へのケアに向き合つている職員と日々祈つて下さる皆様が居てくれたからです。感謝します。

台湾は、日本と同様に高齢化が急速に進んでおり、その現状と将来に向けての展望を学びました。

現地の施設見学では、施設長や現場スタッフとの意見交換を行い、日本で培われてきた介護保険制度を参考にしている台湾のケアシステムの仕組みを学びました。

高齢になつても、元気で生きがいを持つ生活をしていく「生涯学習」の考え方は、日本の介護予防に通じるものがあり、自施設でも、体操や脳トレ等、利用者のやってみたいと思う事を積極的に取り入れていきたいと考えています。